

目次

まえがき 003

第1章 投票のパラドックス 009

一人の合理主義 009

政治の出現 010

「投票」というさしあたりの解決 014

コンドルセの投票のパラドックス 017

パレート原理とは何か 020

民主的なるがゆえに 022

「パレート最適」という「最適」 024

不公平でも最適で、動かない——格差社会 025

民主政治ははたして可能か：合意の計算と「アローの定理」 026

民主政治の行方——未完のプロジェクト 032

観客民主主義 034

第2章 幸福の計算 039

幸福を測る 039

幸福計算の最初の考え方 041

効用による計算 043

異論、反論——個人の間で比較はできない？	049
国民の幸福——「朝食のジャム」のようにはいかない	052
社会厚生関数は永遠の理想——パレート原理	054
経済学への反発	055
幸福と不幸の関わり	057
不幸はさまざま	060
幸福計算に悩む現代	062

第3章 ヴィトゲンスタインの「世界」

065

進歩しない学問	065
どうして詭弁が勝ちを制したのか	068
人類最初の論理	070
「思考の法則」	074
「9.11 は起こらなかった」	079
ウィーン学団の誕生	082
パラドックスの中にパラドックス	084
民主主義のパラドックス	087

第4章 哲学者一人の政治

089

目に見えないもの	089
人類の星の時間	092
アイデアの実験——錯覚を追い払う	095
善のアイデアで国作り：プラトンの「理想国」	099
アカデメイア学校入学	101
正多面体の世界——ことに正八面体	105
日本のバリエーション——里見八犬伝の世界	108

第5章 皆による民主主義 111

- 牧草原で対決 111
- 議会主義と腐敗選挙区 114
- 日本の選挙(1) 日本版「腐敗選挙区」 116
- 投票による民主主義国家なのだが…… 119
- 日本の選挙(2) 小選挙区制の導入 121
- 小選挙区・比例代表の並立制 124
- 支持率の調査結果は欠陥商品か 127

第6章 一人独裁者の政治 133

- 誰によって支配されたいか——民主主義と独裁制の名残 133
- わかりやすい人と決めてくれる人 140
- 恐怖のネットワーク全体主義社会とビッグ・ブラザー 145
- 全体主義というウィルスのマーカー 146

第7章 法学者と経済学者の不仲 151

- ペット鳴き代、ピアノ迷惑料、落ち葉ガマン代 151
- 「法」と「経済」 152
- コースの定理——効率性を旨とした交渉の経済計算 155
- 鉄道会社 vs 農民 157

第8章 囚人のジレンマ 163

- 戦略を数学で読む 163
- 名将は戦略を語らず 164
- セオリーとしての戦略 165
- 英雄たちの死 166

ゲーム理論の登場	167
フォン・ノイマン	168
ゲームの準備	169
安全主義でいく	171
max min と min max : ミニマックス原理	174
ナッシュの均衡点 : ゲームを解く	175
非ゼロ和ゲーム 1 : 囚人のジレンマ	176
現代の憂うつと不吉	178
救いと福音	180
非ゼロ和ゲーム 2 : 恋愛とゲーム	180
非ゼロ和ゲーム 3 : チキン・レースのゲーム	182
私の取り分 : 協力ゲーム入門	185

第9章 リスクヘッジとデリバティブ 193

「リスク」とは近代文明のコスト	193
投資活動のリスク	194
ポートフォリオ投資法	196
デリバティブの初歩 : 確率過程と「オプション」	203
「ヘッジ・ファンド」は必ずしもリスクをヘッジせず	208

第10章 格差を測る 213

自由なのは一人だけ	213
ローレンツ曲線とジニ係数	215
真の社会開発は人間開発	218
評価の難しさと人類の進歩	222

参考文献 224

索引 227